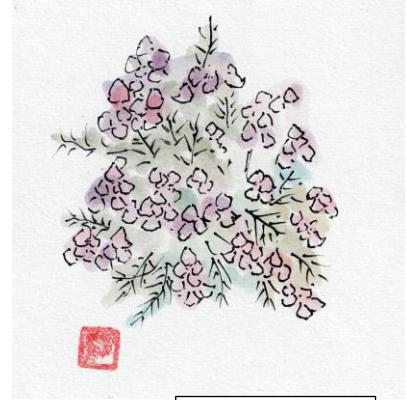


道

2026・2・4

通信 No 1866



本日の練習 6時30分～ 岡野中学 清水先生 小坂先生

ざわめけバイカル 青葉の歌を中心に一部全曲です。

2/11（水）の練習 6時30分～ 岡野中学 小坂先生 二宮先生 三部全曲持参

ジャノメエリカ

岡田さんより「中山先生を偲ぶ会」参加者の最終の数の報告を受けましたのでおしらせします。

当日入場者 259名 出演者 145名（合計 404名）成功裏に終了しました。

また、秋田の土崎先生ご夫妻や仙台ロシア合唱団団長の三橋さんの奥さまや道OBの方々も来場。白樺団員の娘さんはニューヨークからも来場。びっくりポンでした！

参加者からこんな声も寄せられました。

『昨日は哀愁と郷愁と博愛と知性のこもった素晴らしい演奏会をありがとうございました。

私は何故か度々胸が熱くなりました。正直私は中山先生とは直接音楽を楽しんだ事はありませんが「道」の演奏会を聴いたりしており、先生の人となりと功績と慕われる生徒や仲間や人脈等、ほとばしる感動を覚えました。この様な演奏会にお誘い下さり感謝しています。ありがとうございました。』

～参加者の声より～

～肉体が滅びても、人の心の中に生き続ける～

ヒンズー教には人間の一生を「学生期(がくしょうき)」「家住期(かじゅうき)」「林住期(りんじゅうき)」「遊行期(ゆうぎょうき)」の4段階にわける「四住期」という考えがありますが、人生には5段階目があると感じさせられます。

5段階目というのは、「心住期」。

生きている人の心に住む時期です。肉体が滅びても、関わった人の中に生きる時期があると言われます。現実には存在しなくても、生きている人の心の中に生き続けます。

「中山英雄を偲ぶ会」には多くの方々が参加されました。現在私たちは「心住期」を生きています。中山先生ありがとうございました。(朝倉き)

【岡野中学練習で1部清水先生の練習日の教室の並び方について。】

基本的には各パート2又は3列づつで並んでください。指揮者に向かって右から「S・T・B・A」です。

プログラム委員会 2月25日（水）3時～ 県民サポートセンター